

# 第100回コンサート

## インタビュー

新内ホールコンサート生みの親  
南 聡さん



第100回として盛りだくさんの演奏会だったと思います。作曲家の堀井友徳さん、遠藤雅夫さんの曲を今回のコンサートで初めて演奏した事は意義があることだったのではないのでしょうか。記録になつて残るので100回にふさわしいコンサートになつたと思います。ただ、4時間半を超える長丁場だったため、最後の方は出演者も少々疲れて集中力も悪かつたのではないかと思います。

ホールとして使われている古い校舎の雰囲気が残っている。それが現役で使われていることに価値があると思います。人が使っている限りは建物は維持されるでしょうからずっとこのままコンサートを続けていけたらいいなと考えています。それには、コーディネーター

新内ホールコンサート実行委員長  
小関 優さん



と実行委員会で意見を言い合える関係が重要だと思つています。そのような関係が維持できれば今後またコーディネーターが変わってもこのコンサートが続いていくと思います。第51回に最初のワインコンサートが始まりましたが、ユニークな企画で良いと思います。ふだんクラシック音楽で足を運ばない人にも来てもらえるのは大きいですね。

第100回は見事なコンサートとなったと思います。ふだんは2時間ですが、ゆつくりと聴いてもらいたいと考え、4時間半を超える長さとなりました。今までの形に記念コンサートを行う事ができました。今回のコンサートでは学校を

新内ホールコンサート来場者  
中島 良子さん

初めてコンサートに来たのは、平成10年からだったと思います。その頃から今までずっと見に来ています。

コンサートはやっぱりすごいですね。お得な値段で素晴らしい演奏が聴けること、演奏者との距離が近い事も魅力だと思います。夜に森がライトアップされていたり、静かだから雨の時には雨音も合わさってまた違った雰囲気になりますよ。またこれからも通いたいと思います。

木管楽器の3重奏。複雑に絡み合う音色は観客を虜に。



ソプラノの高音、声量で観客を圧倒！表現力豊かな表情にも釘付け！



堀井友徳さん作曲「ノーザンホース・ギャロップ」を世界初演奏。馬が駆け回る様子が浮かぶようなカスタネットとヴァイオリン、ピアノのコンビネーションを披露。



新内ホール生みの親の南聡さんによるプレトーク。旧新内小学校をアトリエとして安く借りる代わりにコンサートをやることになったという経緯や、特別教室と職員室を繋げ、天井を取り払い、窓を付けたというホールの構造などを教えてくれました。



演奏者7人による豪華な演奏。観客は耳をすませ、聞き入りました。



遠藤雅夫さん作曲「カスタネットのために～カスタネット、ヴァイオリン、ピアノによる」を世界初演奏。ピタッと止まる動きと演奏に観客も息を止めて演奏に集中。



最後に新内ホールコンサート実行委員会と出演者の皆さんで記念撮影。

静かな森の  
小さなホール  
音楽に満たされた  
楽しい時間を  
過ごしませんか？



問い合わせ

新内ホールコンサート等に関して何かありましたら社会教育課社会教育係まで気軽にお問い合わせください。